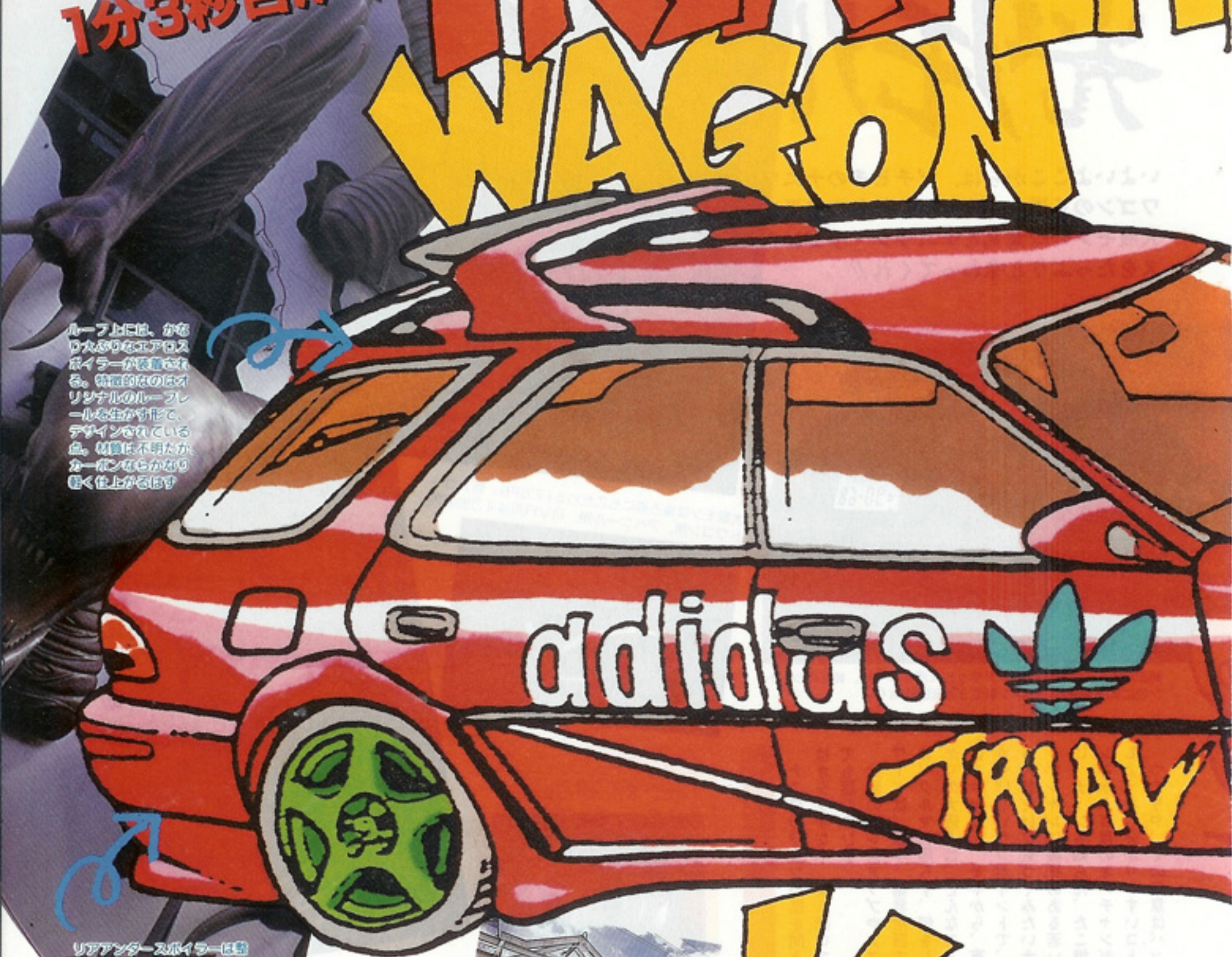


最高出力300PS!!  
ツクバ・ラップ  
1分3秒台!?

# TRIAL WAGON



ルーフ上には、かなり大ぶりのエアロエクスクリューパーが装着される。特徴的なのはオリジナルのルーフレールを生かす形で、デザインされている点。材質は不明だが、カーボンならかなり軽く仕上がるはず

リアアンダースポイラーは空力効果の高いディフューザータイプ。サイドスポイラーはフォラーリルックのNASAダクト構造になる。オーパーフェンダーも固定されるが、幅は30mmほどと控えめだ



# ボディ

なボディは、前半の2/3がセタンそのままという異色のワゴン。ラゲッジスペースよりパッケージングに比重をおいてデザインされ、すっきりしたテールピッチはコレまでにないワゴンのイメージをもっている。

パリパリモツの気味、テイ感を全面に押し出してきたインプレッサワゴンだが、こんな個性派ワゴンをトリアル流にどうやってアレンジするのだろうか。

標準のパッケージがかなりスポーティなので、大がかりなエアロパーツのイメージチェンジは考えていないらしい。ハードとソフトの中間をいくなかでも、レーシングイメージを大切にするのがトリアル・インプレッサワゴンの狙いだ。

まず、フロントまわりは、リップスポイラーにメッシュのグリルでレーシングイメージを作る。サイドは、軽めのオバフェンとフェラリ風のNASA式インタークつきサイドステップで、サイドをシェイプアップさせる。ルーフは、キャリアをそのまま残してそれをオーバースタックする門形のスポイラーが考えられている。リアは、ディフューザータイプのスポイラーを装着する。ホイールは、16インチ化するためにオリジナルのデザインで開発を進めている。

もちろんスポーティなイメージは外見だけじゃなく、パワーユニットも強社製のサンプルが打たれている。現在はターボエンジンというところもあるが、絶対パワーを強化させるため鍛造ピストンを開発している。これによってタービンの性能アップが可能になり、風量の大きなタービンを装着することで約300psにまで性能アップを図ろうというのだ。

パワフルなエンジンの構想だが、ストリートでも十分に対応できるマイルドな味付けなのだ。中速域を重視したセッティングで、ピクアップのいいキビキビした走りを目指している。こんな夢のようなスポーティワゴンが今秋には完成予定だ。実用性+スポーツを欲張った、トリアルのインプレッサワゴンに期待が膨らむぜい。